



- ・市民参加には様々なレベル、形態があり、PI (Public Involvement) もその一形態。
- ・市民参加を通じ、多様な意見を交換しながら、関係者間で「納得」をどのように形成するかがポイント。
- ・合意形成を行う上で「信頼」は非常に重要である。ただし、信頼を得ることを目的とすると信頼は得られない。相手や地域のことを真に考え、行動する熱意が信頼につながる。

(2) 事業特性による整理

事業特性の整理軸について合意形成手法との係わりから、その適用性を考察し、「受益者と受忍者の関係」「事業の影響範囲」を見出した。それらの整理軸と個別事業の関係のイメージを図-1に示す。今後は事業の緊急性等、その他の整理軸についても考慮し、事業特性に合ったプロセス、コミュニケーション手法を検討する。

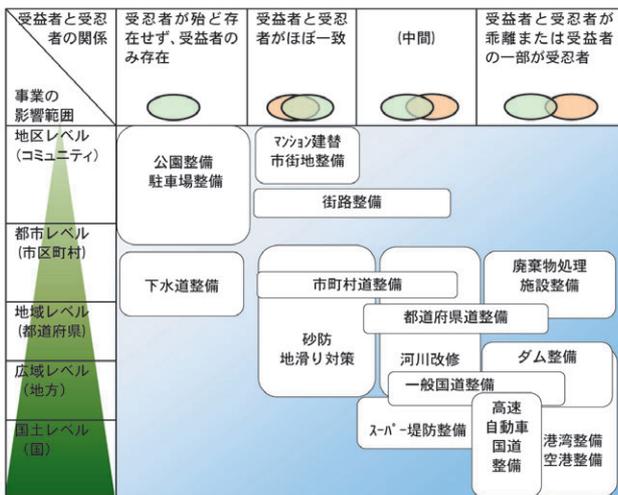


図-1 事業特性による整理イメージ

(3) 地域特性による整理

社会背景、制度的背景、市民の気質等、地域特性が異なれば、合意形成のやり方も異なると考えられるため、他の地域のやり方をそのまま模倣するのではなく、地域の風土に合ったやり方を模索すべきである。

日本の風土にあった合意形成手法を検討するために、比較対象としてフランスの制度について調査を実施した。フランスの合意形成プロセスでは、意見の一致ということは意識されておらず、個々人が様々な意見を述べあい、互いの考えをはっきりさせ

ることに力点が置かれている。最終的な決定は意思決定権者にゆだねられ、決定に至るまでのプロセスには徹底的な情報公開と外部機関による公益性のチェックが義務づけられている。このようなシステムは、意思決定プロセスに対する認知度の高さ、個性の尊重、合理性・公益性の尊重、専門家への信頼の高さ、身近な議会の存在、行政裁判所の存在などに支えられていることがわかった。今後、都市部と地方部の違いなど、地域性に応じた合意形成システムについてもさらに検討を進める予定である。

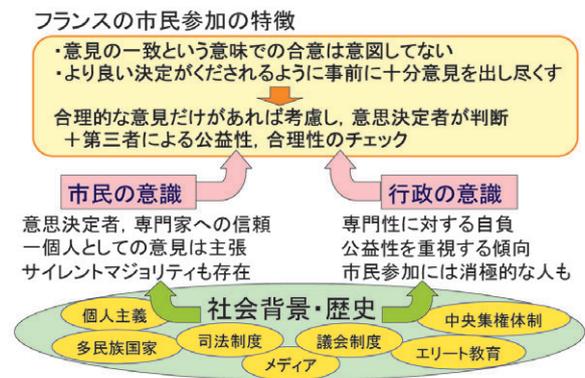


図-2 フランスの合意形成制度の特徴

4. おわりに

本稿では、合意形成に関する概念整理を中心に紹介した。現在、多くの合意形成の実践事例を収集、蓄積、分析しているところである。今後は事例分析から得られた知見を抽出し、これまでに構築してきた概念フレームをもとに体系的に整理するとともに、合意形成を実践するうえでの共通的な重要事項を取りまとめる。また、ノウハウを共有する仕組みについても検討していく予定である。

【参考文献】

- 1) 三浦良平：フランスとの比較に見る日本式合意形成手法の提案に向けた基礎的検討，平成16年度 国土交通省国土技術研究会 自由課題（アカウントビリティ部門），2004. 11
- 2) 鈴木温 他：公共事業における市民参加、合意形成、意志決定の概念整理，第22回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会 講演集，pp. 21-24, 2004. 12
- 3) 早川裕史 他：社会資本整備における合意形成の事業特性から見た基礎的考察，第22回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会 講演集，29-32, 2004. 12